

第1学年移動教室（農村生活体験学習）

校長 山川 毅

9月1日（月）～3日（水）、本校第1学年は、栃木県大田原市方面にて移動教室を実施しました。この行事は、班ごとに宿舎（農家）に分宿して農業を中心とした体験学習を行うという形式です。この3日間、残暑とは言い難い猛暑でしたが、晴天に恵まれ、大自然と温かい人々のおかげで、素晴らしい体験学習を行うことができました。

1日目、無事参加予定者が全員揃い、ほぼ予定通りに出発しました。私は1号車に乗車しましたが、適度なボリュームでの楽しそうな会話が聞こえてきて、心地良いひと時でした。途中トイレ休憩をはさみ、定刻通り那珂川河畔公園に到着、これから始まる体験学習への期待感からか、皆楽しそうに昼食を取っていました。12:40 旧芦野小学校着、体育館で入村式を行い、各班にお世話になる宿舎（農家）の方々との対面。いよいよ3日間の体験学習の始まりです。入村式において、私からは、「この3日間、頭を使う学習ではなく、五感（目・鼻・口・耳・肌）を研ぎ澄まして、“人・自然・もの”から多くのことを感じ取って欲しい」と伝えました。

各宿舎（農家）は、距離が離れている為、引率者は2つに分かれて巡回しました。到着すると、生徒たちは満面の笑顔で我々を迎えてくれました。冒頭で記した通り、猛暑だった為、各農家の方々は、日中は室内の作業にしたり、涼しい朝のうちに作業したりと生徒たちの健康面にも配慮してくださいました。かぼちゃ・とうもろこし・なす・オクラの収穫、さつま芋掘り、ブロッコリー・大根の種植え、収穫したニラで餃子作り、ブルーベリージャム作り、やまびこ体験、薪割り、郷土資料館見学等、体験内容は、各宿舎ごとに特色がありました。ふだんスーパー等で見かけない曲がったきゅうりやナス、この見た目が良くない野菜こそが本物だということ等、生徒たちは、ふだんできない貴重な体験から、五感を働かせて感じ取っていました。

「私の手料理や野菜を出すと、ごはんがおいしい！と言って、たくさん食べてくれました。とても嬉しかったです。」ある農家の方からこのような言葉を聞きました。農家の人々は、長い時間を費やし、苦勞して野菜を作って出荷します。その野菜が店頭に並んで、消費者に買われていきます。しかし、残念ながら自分たちが手塩にかけて育てた野菜の感想の声は届きません。だからこそ、じかに聞くことができた生徒たちの「おいしい！」という一言は何より嬉しかったようです。

あっという間の3日間でした。最終日、閉村式の後、3日間お世話になった現地のお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんの元へ班ごとに集まり、お礼とお別れを惜しむ会を行いました。コロナ禍以降、人とかかわりが苦手な生徒が増えたと言われていますが、家族や学校外、しかも初対面の人々と濃厚に関わった3日間、ここに今回の行事の意義があると考えております。様々な作業をやりながら宿舎の方々と交わされる会話が、まさに“人から学ぶ”ことであり、生徒にとってとても貴重な体験でした。各宿舎を巡回すると、「素直でよく働いてくれています。挨拶や返事を気持ちよくしてくれるととてもいい生徒さんですね」とお褒めの言葉をたくさん頂きました。生徒たちが素直で純粋な心で接したことにより、宿舎の人たちそして大自然からたくさんの素晴らしいものを与えられました。現地に残って宿舎の方々や自然へ恩返しすることはできませんが、八王子（鍾水）へ戻り、近隣、東京、日本、そして世界の自然に目を向け、今自分ができることを考え実行すること、そして、宿舎の方々や仲間からもらった優しい心を、今度は自分がこれから出会う人々に与えられる人になってくれることを願います。

最後に、生徒及び保護者の事後アンケートにおいて、有難い御意見と共に、改善点・要望等の貴重な御意見も寄せられました。次年度に向け学校としてきちんと検証し、なおかつ業者及び現地へ要望等を伝え、より充実した行事にしていきたいと思います。

鐘水中学校グループ 育てたい児童・生徒像
「好きになれる～自分・仲間・学校・地域・挑戦～」



生徒会役員選挙・立会演説会

より良い学校生活を考える・身の回りの課題に気づき、当事者意識をもって行動する力の育成



9月9日（火）、生徒会役員選挙の立会演説会と投票を行いました。立候補者一人ひとりが「生徒会予算の使い道」等、自分が役員となって実現したいことを全校生徒に伝え、よりよい学校づくりに向けて協力を呼びかけました。すべての立候補者、応援演説者がとても立派でした。

演説後、体育館後方に設置した記載台と投票箱を使って投票を行いました。この記載台と投票箱は八王子市選挙管理委員会からお借りした本物です。生徒たちは素晴らしい態度と厳粛な雰囲気投票することができました。選挙管理委員の生徒も、生徒会役員選挙で問題が起こらないように、一つひとつ丁寧に仕事をすることができました。

サレジオ高等専門学校体験授業～2年生～

視野を広げ、自分の将来について考える・地域の特色ある学校について知る



9月18日（木）に2年生が、サレジオ高等専門学校の体験授業を受けました。モーションキャプチャ体験、EV・自動運転技術、体が不自由な人も楽しめるゲーム作りの3種類を体験し、とても意欲的に授業に取り組むことができました。体験した生徒は「普段乗っている自動車と自動運転車の違いを知ることができた。」「VR技術を身近に感じることができた。」等と話していました。

リトルティーチャー

学力の向上・小中一体化の取組

9月8日（月）、鐘水小学校の「すごろくタイム」に有志の鐘水中生が「リトルティーチャー」として算数を教えに行きました。リトルティーチャーになった生徒は「うまく教えられるか心配だったけど、予習した成果が出せた。小学生のためになってよかった。」と話していました。次回は11月17日（月）の予定です。たくさんの生徒の参加を期待しています。



鍵水中学校グループ 育てたい児童・生徒像
「好きになれる～自分・仲間・学校・地域・挑戦～」



1年生 移動教室～農村生活体験～

農村生活を体験して、地域や郷土(鍵水)の良さを知る



1年生が9月1日(月)～3日(水)の3日間、
栃木県大田原市を中心に、農村生活体験を行いました。
現地の農家の方から愛情を注いでもらい、
雄大な土地を活用した栽培や養鶏等に関わる体
験もすることができました。



第3回 鍵水★家プロジェクト～地域学校協働本部～

鍵水の子どもたちのキャリアディベロップメント



9月27日(土)、第3回鍵水★家プロジェクトを実施しました。第3回目の今回は「ものづくり×食『流しそうめん』」です。参加した子どもたちは「株式会社 名尾建」の職人さんに作り方を丁寧に教えてもらい、そうめんを流す筒とそうめんをつける猪口を作りました。

自分たちで作った道具や器で食べる流しそうめんは格別でした。楽しいとおいしいがいっぱい詰まった素晴らしい時間を過ごすことができました。

鍵水中学校は「対話 de 指導」